

産学連携授業

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学、専門学校等が連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業を展開しています。

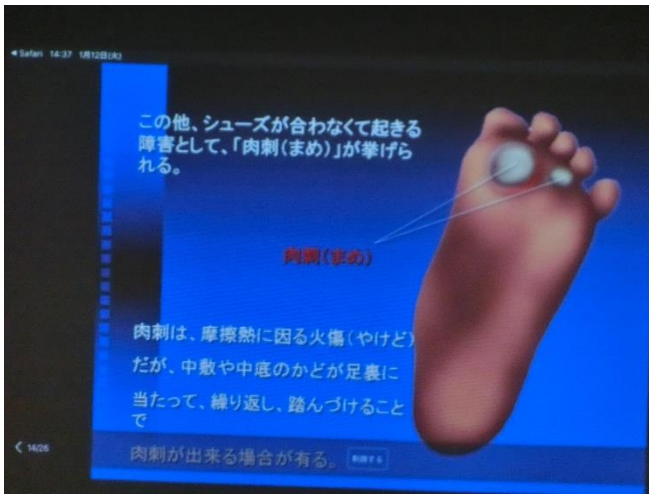
令和3年1月12日（火）対象：スポーツ健康科学科1年生

「足とスポーツシューズの基礎知識」

「アイデアが湧き出る発想法 ブレインストーミング (Brainstorming)
～コロナに負けない健康器具を創り出そう！～」

三ツ井 滋之 先生（アシックススポーツ工学研究所）





皆さんはスポーツメーカーがどのように新商品開発のアイデアを出すのか知っていますか？一口に新商品の開発と言っても速く走るためのウェア、シューズの開発、素材の開発だけではなく、スポーツ環境をどのように整えたら良いのか？現在、そして未来の社会情勢を鑑みてスポーツ、健康へのハード面、ソフト面など多岐にわたるSTEMづくりなど様々な分野に渡ります。

「今回は、コロナに負けない健康器具を創り出そう！」というテーマで考えてみました。

閃いた(ひらめいた)アイデアを出し合うことで更に発想を誘発して具現化していく方法に**ブレインストーミング**(brainstorming)という手法があります。一昨年は**マインドマッピング**を用いて新しいスポーツを創造しよう！というテーマで行いましたが、今回は**マンダラート**を用い、「コロナに負けない健康器具を創り出そう！」テーマで行い、みんなの溢れ出るアイデアをまとめて具現化していく方法を学びました。

固定観念に囚われずに自由に発想を飛ばたかせることが大切です。 困難な状況下でそれを打破するアイデアを出せる創意工夫する能力は大変重要です。みんなが持っている宝物のような自由な発想から新しい物が生み出されます。

